

# 平成 29 年度 川場村のあゆみ

## 川場村子ども議会開催

11月1日（水）、川場村議会議場において第1回川場村子ども議会が開催され、中学3年生30名の議員が出席しました。

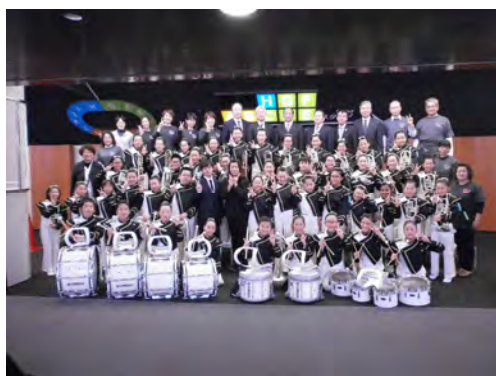
この子ども議会は、議会の仕組みや運営方法を実際に体験し理解を深めるとともに、今後の川場村を担う中学生ならではの視点・発想に基づいた、村づくりのための要望や意見をこれからの村政運営に取り入れようとの思いで開催しました。今後も毎年、中学生を対象とした子ども議会を開催していく予定です。

生徒は事前に役場職員に話を聞きにいたり、グループ討議を重ねるなど事前学習に取り組み、子ども議会に臨みました。代表議員12名からはさまざまな一般質問がありました。



## 全国の舞台で堂々の銀賞！～川場小マーチングバンド～

11月18日（土）、大阪城ホールにおいて、「第36回全日本小学校バンドフェスティバル」が開催されました。7年連続でこの大会に出場した川場小学校マーチングバンド



「川場キッズ」は、今年こそ再び金賞を目標に7分間の演奏に100%の力を出し切りました。

結果は目標には一步届かず「銀賞」でしたが、とても貴重で意味のある賞を受賞しました。金賞を受賞できず悔し涙を流した子どもたちは、これからもっと強くたくましく成長し、活躍できると期待しています。これからも感謝の気持ちを忘れずに、心に響く演奏を届けてください。

## 快挙！雪ほたか 10 回目の金賞受賞！～第 19 回米・食味分析鑑定コンクール国際大会～

11月25日（土）、26日（日）に山形県真室川町にて、国内最高峰を誇る「第19回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」が行われ、出品総数 5,551 検体の中から（株）雪ほたか・小林仁志さん（立岩）が国際総合部門で最高賞の金賞を受賞しました。

川場村・雪ほたかとしての金賞受賞は、10大会目となりました。10大会で国際総合部門の金賞を受賞した地域、団体は川場村・雪ほたかが史上初の快挙となります。（過去13名の生産農家が受賞）



## 世界最高米認定式～川場から世界へ発信するお米～

1月25日（木）、東京都中央区日本橋室町にて世界最高米の認定式が行われました。世界最高米とは、米食味分析鑑定コンクールにて金賞を受賞した18品の米の中から、更に



東洋ライス（株）が厳選した6検体の米をブレンドし、熟成させたものとなります。

1kg1万円、1俵60万円取引されるほどであり、国内だけでなく、香港、シンガポール等世界へ向けでも販売される予定です。今回その原料として、小林仁志さん（立岩）の雪ほたかが選ばれました。

## 韓国・地域発展委員会が訪問！～地方創生のモデルを視察～

12月12日（火）、韓国の大統領直属地域発展委員会が、村内及び道の駅川場田園プラザの視察を行いました。地方創生や、地域の活性化について、村内事業を通してご覧になりました。また、地域柄や土地の活かし方などについても興味を持って質問していただき、韓国の地方創生への取り組みの意欲も強く感じられました。



## 美味しい給食で、よりよい食育を～第12回全国学校給食甲子園～

12月3日(日)、女子栄養大学にて第12回全国学校給食甲子園が行われました。全国各々の地場産品を利用した給食を作る大会で応募総数2,025団体のうち、3位相当の21世紀構想研究会特別賞という賞をいただきました。



## 地区懇談会開催～川場村の未来を創る～

1月29日(月)～2月14日(水)にかけて、各地区にて「地区懇談会」が開催されました。地区懇談会では、村長、副村長、教育長が各集会場にて、川場の村政や今後の計画等について説明し、その後、村民より質疑応答を受けました。参加していただいた村民の方々も村政に強い関心を持ち、現状の課題や、今後の展開について様々な質問をいただきました。川場村の未来を考えるよい機会となりました。

## 道の駅「田園プラザ川場」の景観が評価されました

### ～2017年度土木学会デザイン賞奨励賞 受賞～

1月21日(土)に、東京都新宿区にある土木学会講堂にて、土木学会デザイン賞の授賞式が行われました。そこで、田園プラザ川場が、奨励賞を受賞しました。

田園プラザは他所にない豊かな田園風景と魅力ある地域特産品づくりを進めて、滞留型の目的地となるような魅力ある空間づくりに努めてきました。



またドライブの途中にちょっと立ち寄るところ、という道の駅に対するイメージに反して、ショッピングや飲食ができる建物が複数あることで回遊することができ、またテラスや木陰等で休むことでゆったりとくつろぐこともできる空間となっている点が評価されました。

## KAWABA国際自然文化サミット

2月24日（土）、京都吉兆総料理長の徳岡邦夫氏、東京農業大学の宮林茂幸教授、石川徹客員教授をお迎えし、川場文化会館において「KAWABA国際自然文化サミット」が開催されました。

最初に、川場村内を中心に舞台とし、川場小学校の生徒やその父兄も出演された映画の完成披露が行われました。

外山村長の基調講演では、「川場村の30年ビジョン」ということで、これまでの川場村を振り返るとともに、これからの展開について話されました。

また、徳岡料理長、宮林教授、石川教授や村民代表の方々が、「川場村30年戦略と田園理想郷の創造」について語りました。それぞれの視点から観光資源に対するアプローチについて主張し、地方創生の成功例として、さらなる発展ができるような展開について意見交換が行われました。



## ありがとう川場幼稚園！

平成30年3月22日（木）をもって川場幼稚園が閉園となりました。昭和34年に季節保育園として建てられ、およそ54年もの間、川場村のこどもたちを見守り続けてきました。

今後は、学童クラブ拠点施設として改修され、これからも川場村のこどもたちの育成の場として活躍していきます。

